

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所共同利用型高額研究機器整備費			担当部局庁	国立感染症研究所			作成責任者	
事業開始年度	平成5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課			飯野 賢一	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション、男女共同参画			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立感染症研究所の事業やその他研究機関との共同利用を通して実験の効率化と科学技術推進を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	国立感染症研究所の共同利用型高額機器として、細胞自動分析分離装置及び超高分解能操作電子顕微鏡を整備。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算の状況	当初予算	78	76	76	70			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	78	76	76	70	0			
	執行額	78	75	76					
	執行率(%)	100%	99%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	99%	100%						
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	試験研究費	70							
	計	70	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	目標値として3.5点以上の獲得を目指す。	毎年行っている研究課題評価の総合点を間接指標として用いる。	成果実績	点	4	4.4	4.3	-	
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	-	3.5
			達成度	%	114	126	123	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	国立感染症研究所研究開発課題評価報告書								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込		
	細胞解析、電顕合計使用回数	活動実績	-	細胞所内634回 所外 270回 電顕検体 213件	細胞所内811回 所外 212回 電顕検体 517件	細胞所内614回 所外 190回 電顕検体 499件	-	-	
		当初見込み	-	細胞所内719回 所外 207回 電顕検体 294件	細胞所内634回 所外 270回 電顕検体 213件	細胞所内811回 所外 212回 電顕検体 300件	細胞所内650回 所外 200回 電顕検体 300件	-	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	X:執行額 Y:細胞解析、電顕合計使用回数(件)	単位当たりコスト 計算式	円	69,830	48,701	58,327	60,870		
			X/Y	7,800万円/1,117件	7,500万円/1,540件	7,600万円/1,303件	7,000万円/1,150件		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること										
	施策	XII-1-1 国立感染症研究所など国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標年度 30年度			
		国立感染症研究所における研究課題評価(毎年度実施)において3.5点以上の獲得を目指す	実績値	点	4	4.4	4.3					
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	国立感染症研究所の事業やその他の大学、研究機関との研究にも利用可能な高額研究機器を整備し、共同利用することで、実験の効率化と科学技術推進に資するもの。											
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
目標値			-	-	-	-	-	-	-			
達成度			%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
事業の効率性	項目			評価	評価に関する説明							
	国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。						
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。						
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	国民の健康を守るために必要な試験研究等の実施に必要な施設の維持管理であり、優先度は高い。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札の実施や契約金額が少額であっても見積もり合わせの実施により、競争性を確保している。昨年引き続き3庁舎による公告、類似契約業者への声掛けを実施しているところであるが、検査機器の保守に係る調達については、1者応札となった。引き続き、入札説明会に参加したが応札しなかった者等へのヒアリングを行う等、競争性の確保に係る取り組みを継続したい。							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	なお、検査機器の賃貸借に係る再リース契約については、最も安価な条件で契約できるため随意契約となっているものであり会計法に基づき適切に契約を行っている。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有								
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	昨年度より増加したが、引き続きコスト削減に努める。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-							
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。								
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-								
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	少額の随意契約であっても複数社から見積書を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	成果実績が成果目標以上になっているので見合っている。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	整備されている共同利用機器については利用率も高く、十分に活用されている。							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-								
	所管府省名	事業番号	事業名									

点検・改善結果	点検結果	支出は5年リースの機器代と機器保守料、機器のオペレータの非常勤職員給与、および関連消耗品費からなっており、機器リース料は国庫債務負担行為を利用し契約初年度に一般競争入札により業者の選定を行っている。機器の保守料についても同様に一般競争に付している。引き続き、コストの削減に努め執行額を抑制してまいりたい。
	改善の方向性	適切に予算を執行し、事業の目標が達成できており、このまま継続して事業を実施する。また、機器のリース料については、リース期間中の見直しの余地は乏しいが、機器の切り替え時期には機器の必要性の観点から再リースも含め費用対効果を最大化するよう検討する。機器のオペレータの非常勤職員給与、および関連消耗品費については、検体数の増加に伴い、削減は困難であるが、多数検体をまとめて解析するなど、効率化を図る。

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	626	平成23年度	567	平成24年度	504		
平成25年度	886	平成26年度	886	平成27年度	896		
平成28年度	865						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

```

graph TD
    A["国立感染症研究所  
76百万円  
共同利用型高額研究機器整備費"]
    B["D.非常勤職員A他16社  
26百万円  
賃金、備品、消耗品等"]
    C["A.日立キャピタル(株)  
36百万円  
検査機器リース"]
    D["B.株式会社日立ハイテク  
フィールドイジング他1社  
12百万円  
検査機器保守"]
    E["C.日本電子株式会社  
2百万円  
検査機器点検"]
    
    A --- F["【その他等】"]
    F --- B
    
    A --- G["【国庫債務負担行為等】"]
    G --- C
    
    A --- H["【随意契約(公募)等】"]
    H --- D
    
    A --- I["【一般競争契約(最低価格)】"]
    I --- E

```

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.日立キャピタル(株)			B.株式会社日立ハイテクフィールドディング		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	借料及び損料	検査機器賃貸借(平成25年度国庫債務負担行為)	16	雑役雑務	検査機器保守	7
	借料及び損料	検査機器賃貸借(平成25年度国庫債務負担行為)	12			
	借料及び損料	検査機器賃貸借(再リース)	6			
	借料及び損料	検査機器賃貸借(再リース)	2			
	計		36	計		7
	C.日本電子株式会社			D.非常勤職員A		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役雑務	検査機器点検	2	賃金	補助業務	4
	計		2	計		4

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日立キャピタル	6010401024970	検査機器賃貸借(平成25年度国庫債務負担行為)	16	国庫債務負担行為等	-	-	-
2	日立キャピタル	6010401024970	検査機器賃貸借(平成25年度国庫債務負担行為)	12	国庫債務負担行為等	-	-	-
3	日立キャピタル	6010401024970	検査機器賃貸借(再リース)	6	随意契約(その他)	-	100%	-
4	日立キャピタル	6010401024970	検査機器賃貸借(再リース)	2	随意契約(その他)	-	100%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立ハイテクフィールドディング	9011101029712	検査機器保守	7	随意契約(公募)	-	99.8%	-
2	(株)池田理化	3010001010696	検査機器保守	5	一般競争契約(最低価格)	2	100%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電子株式会社	1140001028983	検査機器点検	2	一般競争契約(最低価格)	1	100%	-

